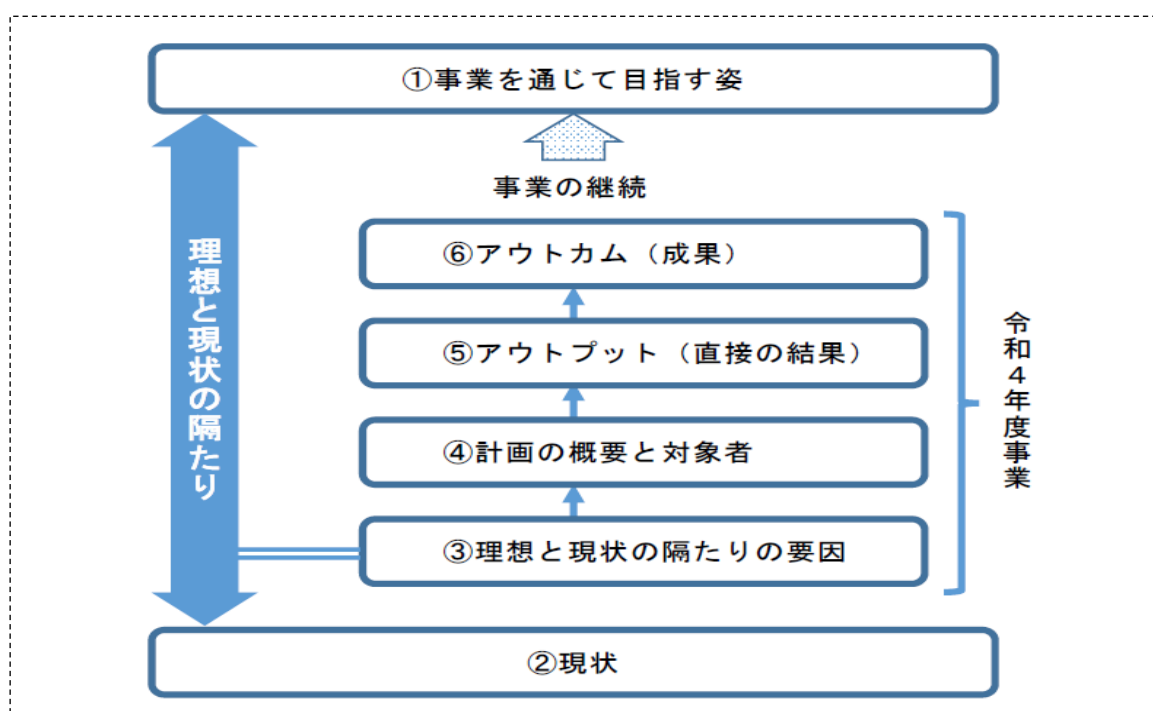


事業計画書

事業名	住民主体の倉敷市イベント情報発信「市民レポーター」事業
団体名	一般社団法人はれとこ

◆ 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

イベントなど街の取り組みを、住民（学生を含む）の視点で伝えることで、住民と観光客が対立軸ではなく、「倉敷を楽しんだり好きになったりする仲間」となる社会を目指す。そのハブとなる媒体として地域コミュニティ Web メディア「倉敷とことこ」を活用し、今後2年以内に、倉敷市民によるイベントレポートが、月に3本以上公開されている状態としたい。

※イベントレポートの対象は、ハートランド倉敷のように一般的に連想される「観光イベント」だけではなく、地域のお祭り、町内会・学校などが行う行事も含む。

2 現状

上記1の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

- ・ 地域に関する情報発信のメインは観光情報で、観光は域外の人向けの施策であり、住民は「自分たちには関係ないもの」と認識している
- ・ 地域のイベント、取り組みは、外部にあまり発信されず、担い手不足という課題も発生している

住民の取り組み（地元向け）と観光（外向け）が対立軸のようになっており、住民は観光に携わらないし、観光は住民よりも域外の人を重視しているように見られている。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記1と2の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

- ・ 住民の取り組みと観光を「同列」で扱う、情報発信媒体が不足している
- ・ 住民は地域情報を自分たちで発信するという意識が薄い
- ・ 情報発信に興味はあっても、「私なんか」スキル不足を理由に遠慮することが多い
- ・ コロナ前のインバウンド施策のように、「観光＝域外の人向け」というイメージの定着

4 計画の概要と対象者（令和4年度）

上記3で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150字以内で簡潔にまとめてください（計画の詳細は下記7に記入してください）。

地域情報の発信に関心のある倉敷市民および高校生を対象に、次の3つに取り組む。

1. レポート記事の作成に必要なスキルを学ぶセミナーを開催
2. レポーターが「倉敷とここ」に記事を投稿する仕組みの構築
3. セミナー受講生がレポーターとなり取材記事を執筆し、記事を公開する

◆ アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、〇〇〇というアウトプットが生じ、次にその成果として、△△というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施→アウトプット→アウトカム

◆ アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム
学習支援事業	学習会の開催	月4回、各回20名参加	参加者の学習意欲の向上
就労支援事業	冊子作成・配布	1千冊作成、800人に配布	就労に必要な知識の習得
保護者支援事業	居場所の運営	週2回、各回15名参加	育児の負担感の緩和
移動支援事業	高齢者の送迎	週2回、各回5名利用	移動手段の選択肢の増加

5 アウトプット（直接の結果）

令和4年度の事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスを提供しますか。

1. レポート記事の作成に必要なスキルを学ぶセミナーを開催
2. レポーターが「倉敷とことこ」に記事を投稿する仕組みの構築
3. セミナー受講生がレポーターとなり取材記事を執筆し、記事を公開する

アウトプットを測る指標と数値目標を記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
・セミナーの参加者数	0人	30人
・倉敷市民のレポーター数	0人	5人
・レポーターの記事投稿数	0本（月）	3本（月）

事業実施後の数値目標は、どのような方法で測りますか。

各取り組みを実施する毎に、参加者数や記事の投稿数を数える。

(様式第2号)

6 アウトカム（成果）

上記5のアウトプットが、令和4年度中に、地域や社会、人にもたらす変化や効果はどのようなものですか。

- ・ 倉敷市民による、イベント情報の発信数が増える
- ・ 観光情報の発信に市民が関わってもよいと感じる人が増える
- ・ 倉敷市観光課など、観光関係者と市民が協働して情報発信を進めて行くという合意が得られること

7 計画の詳細

(1) 具体的な内容

※内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

<レポート記事の作成に必要なスキルを学ぶセミナーを開催>

レポート記事作成に必要な、ライティング・撮影スキル・入稿方法を学ぶ全3回のセミナーを住吉町の家分福(予定)で開催し、スキル・仕事の進め方に不安をもつ市民に理解を促す。

このセミナーは「令和3年度高梁川流域地域づくり連携推進事業」の採択事業として実施した「高梁川流域ライター塾」のコンパクト版と位置付け、運営体制・講師を流用することで品質を担保する共に、コストダウンを図る。

会場受講のセミナーは令和4年度内で1度のみ開催するが、収録動画での受講は年度内受け付ける。同時に、セミナー説明会と受講者向けの相談会を年度内に3回程度実施する予定(場所は倉敷美観地区周辺・玉島・児島の予定)。

<レポーターが「倉敷とことこ」に記事を投稿する仕組みの構築>

レポート記事を投稿する媒体は新規構築ではなく、既存メディアであり開始から3年経過し認知度も高まっている「倉敷とことこ」を活用し、新規構築コストおよび周知にかかるコストをカットする。

しかし、倉敷とことこの記事は、ライターがWordPress(CMS)に直接入稿する形で作成しており、記事を書く以外のスキルを要求される状況となっている。

このため、レポーターの記事はICTスキルの低い人も含め、幅広く書いてもらえるよう、Wordファイルなどで原稿を受付、編集部で入稿する仕組みを構築する。

<セミナー受講生がレポーターとなり取材記事を執筆し、記事を公開する>

セミナー受講生がレポーターとなり、取材記事を作成掲載する。掲載媒体は自社メディア「倉敷とことこ」を中心とするが、経験を積んだ後、他媒体(倉敷観光ブログなど)にライターを紹介することも可能な仕組みとする。

レポーターとして記事を書く住民は、自身が伝えたかった・楽しかったイベントの紹介記事がメディア掲載される満足度が得られ、読者となる住民は地域活動をより多く知る機会を得ることができる。

また、市外・県外の元市民や(見込み)観光客に対しても、倉敷市を知ってもらうきっかけに繋げる。

(2) スケジュール (準備～実施～報告)

4月	セミナー企画内容検討 レポーター向け入稿フローの検討
5月	第1回説明会実施
6月	セミナー開催 (リアル: 全3回) ※セミナー内容は収録し、以後オンライン受講も可能とする
7月	第1回受講者向け相談会
8月	レポーターによる取材、記事制作スタート
9月	第2回説明会実施
10月	第2回受講者向け相談会
1月	第3回説明会実施
2月	第3回受講者向け相談会

(3) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。また、人件費を支払う予定の団体会員には、人件費欄に「有」を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験	人件費
戸井 健吾	● システムエンジニアの実務経験 20 年 ● Web メディア運営の実務経験 20 年	無
岡本 康史	● Web メディアの運営経験 5 年 ● ライティング・編集の実務経験 4 年	無
西山 博行	● Web メディア運営の実務経験 15 年 ● Web ライター/Web ディレクターの実務経験 4 年 ● クラウドソーシング活用/ライター育成セミナー講師 の実務経験 3 年	無
村上 智英	● システムエンジニアの実務経験 20 年 ● Web メディアの運営経験 15 年 ● マーケティングの実務経験 7 年	無
森田 美紀	● 観光業の実務経験 7 年 (倉敷観光コンベンションビュー ロー5年、倉敷アフタヌーンティー実行委員会 2年) ● ライティングの実務経験 3 年	無
10名を超える場合は、外〇〇名としてください⇒		外 () 名

(様式第2号)

8 受益者負担 ※事業の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

(1) 徴収する (見込み: セミナーの受講料(高校生は無料))

(2) 徴収しない (理由: _____)

収支予算書

1 収入の部

科目	内訳	金額(円)※2	積算根拠
受益者負担		60,000	セミナー受講費 2,000 円×30 人
会費からの繰入		10,000	
その他			
市補助金		276,000	
収入合計		346,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円)※2	積算根拠
人件費(会員) ※1		0	
交通費(会員) ※1		0	
人件費(アルバイト等)		0	
謝金(講師等)	講師料	30,000	セミナー講師謝金(1回分)
旅費交通費(講師等)		0	
消耗品費	配付資料印刷費	5,000	セミナー時の配付資料印刷費
印刷製本費	チラシ印刷	16,000	A4 両面印刷 500部×3回
通信運搬費		0	
保険料		0	
使用料・賃借料	会場使用料	50,000	
外注費・委託費	チラシ制作	80,000	25,000 円×3 回 10,000 円×3 回 (アーカイブ動画)
	Web制作	60,000	
	音響・配信	75,000	
	動画制作	30,000	
対象経費計		346,000	
食糧費		0	
人件費		0	
その他		0	
対象外経費計		0	
支出合計		346,000	(収入合計と一致)

※1: 会員に支払う人件費交通費は、協働事業部門のみ計上でき、その合算額は対象経費計の1割を上限とする。

※2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入する。

組織運営体制

団体名	一般社団法人はれとこ
ふりがな	いっばんしゃだんほうじんはれとこ
法人格 (○をつけてください)	任意団体・NPO法人・一般財団法人 <u>一般社団法人</u> ・公益社団法人 公益財団法人・社会福祉法人・協同組合・その他 ()
CANPAN 登録の有無	<u>有</u> ・ 無

※CANPAN: 日本財団及び特定非営利法人 CANPAN センターが運営する, 市民・NPO・企業などの活動を支援する WEB サイト

※以下の項目は, CANPAN に登録する情報と同等の内容です。登録済みの場合は, そちらを参照すると便利です。

※新規チャレンジコースに申し込む団体は, **情報のある項目のみ**記入してください。

1 組織体制

任意団体活動開始年月	2018年 9月 (西暦)
法人格取得年月	2019年 11月 (西暦)
事務所 所在地	岡山県倉敷市中央二丁目13番3号
代表者	職・氏名 代表理事 戸井健吾
	電話番号 080 - 7494 - 3220 (連絡可能時間帯 10:00 ~ 17:00)
ウェブサイト URL	https://haretoco.or.jp/
活動地域	岡山県
役員数・職員数計	11名 (役員 11名, 職員 0名)
設立年月	2018年 9月
活動分野 (該当に○をする) (複数回答可)	子ども・青少年・障がい者・高齢者・在日外国人・留学生・福祉・保健・医療・ 教育・学習支援・地域・まちづくり・文化・芸術の振興・スポーツの振興・ 環境・エコロジー・ <u>災害救援</u> ・地域安全・人権・平和・国際協力・国際交流・ 男女共同参画 <u>ITの推進</u> ・科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・ 就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・ <u>観光</u> ・農山漁村・中山間・ 助成活動・食・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への政策提言・ 学術研究・その他 ()
活動目的 (規約等に定めるもの)	当法人は、情報通信技術 (ICT) を通じて、人・自分・地域の魅力を対立軸ではなく、愛を持って発信し、人と人・ものとの・地域と地域の繋がりを増やすことを目指して、事業を推進すると共に、性別・年代・地域その他様々な「違い」をリスペクトできる人・組織を養成しながら、地域の発展に寄与することを目的とする。

	<p>当法人は、前条の目的に資するため、次の事業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ウェブ等を活用した地域の情報発信事業2. 災害発生時の情報発信支援事業3. ICT普及活動支援事業4. その他当法人の目的を達成するため必要な事業
設立以来の主な活動実績	<ul style="list-style-type: none">・地域コミュニティ Web メディア「倉敷とことこ」、「備後とことこ」の開設・市民ライターを育成する「高梁川流域ライター塾」の運営・地域メディア事業に関する講師・社会的養護の子供向け「パソコン教室」・児童福祉施設向けの PC、スマートフォン貸与 <p><代表理事プロフィール></p> <p>1979年9月生まれ。</p> <p>立命館大学産業社会学部卒業。</p> <p>卒業後、18年間システムエンジニアとして、富士通・ベネッセ向けのシステム開発作業に携わる。</p> <p>独立直前の2018年7月。</p> <p>平成30年7月豪雨で倉敷市真備町が被災し、岡山 NPO センターと連携し、倉敷市災害ボランティアセンターの運営に協力。ボランティアの Web 受付システムの導入を行うなど、SE 経験を活かした運営支援を行った。</p> <p>その後、被災地の情報発信の必要性を感じ、地域コミュニティ Web メディア「倉敷とことこ」を個人事業として開始。2019年11月には、「一般社団法人はれとこ」を設立。</p> <p>地域メディア運営・ICT普及支援活動を行う団体として、継続的な活動を行っている。</p>
現在特に力を入れていること	<ul style="list-style-type: none">・学校（特に高校）と協働した、地域の情報発信活動・社会的養護の子供向けに ICT 機器の貸与活動・Web メディア運営、ライティングスキルの継承を目的に開催している

	「高梁川流域ライター塾」
--	--------------

2 団体概要と財政状況

団体の活動・業務 (事業活動の概要)	<p>【ウェブ等を活用した地域の情報発信事業】 地域の情報発信事業として、地域メディア運営を行っています。</p> <p>岡山県倉敷市を中心とした「倉敷とことこ」を中心に、複数のメディアを運営しており、今後も少しずつ新規メディアを増やしていく予定です。</p> <p>WEB メディア運営は地元のブロガー・ライターによる取材記事をメインにしており、お店の情報・価格・目玉商品など「スペック」だけでなく、関係者の方にインタビューし「人」にスポットを当てることにこだわって運営しています。</p> <p><運営メディア> 倉敷とことこ (2018年9月～) : https://kuratoco.com/ 備後とことこ (2020年9月～) : https://bintoco.com/</p> <p>【災害発生時の情報発信支援事業】 平時の情報発信が観光・グルメ情報を中心とした「地域メディア運営」とした場合、災害発生時など「非常時」も情報発信の担い手となることを目指しています。</p> <p>平成30年7月豪雨の発災時は、代表理事の戸井が倉敷市災害ボランティアセンターで、Peatixを利用した「ボランティアのWEB受付」導入支援を行いました。</p> <p>その後、社会福祉協議会、NPO法人などの運営支援をICTを通じて行いながら、災害時も連携できるような関係構築を継続しています</p> <p>【ICT普及活動支援事業】 WEBメディア運営など、情報通信技術(ICT)を活用した事業が中心となるため、これらの普及活動としてセミナー・コミュニティ運営も行って</p>
-----------------------	---

	<p>います。</p> <p><岡山ブログカレッジ・備後ブロガー会> ブログなど、WEBメディア運営を目指す人向けのセミナーと交流会</p> <p><岡山スマホユーザー会> スマートフォンなど「ガジェット」好きが集まる交流会</p> <p>また、地域の福祉団体と連携し、社会的養護の子供向けにPC・スマートフォンを貸与する取り組みも行っています</p>
今後の活動の方向性	<ul style="list-style-type: none">・地域コミュニティメディア活用事例を増やして行く(学校・地域団体・企業など)・寄付、助成金事業に依存しない、収益構造の実現(広告、受託事業の受注を増やす)・災害発生時にすぐ活動できるよう、社会福祉協議会やNPO団体などとの協働事例を増やす
最新決算総額 (該当に○をする)	100万円未満・100～500万円未満・ 500～1,000万円未満 ・1,000～5,000万円未満・5,000～1億円未満・1～5億円未満・5億円以上
定期刊行物	

(様式第4号)

3 活動概要と協働実績

助成金・補助金等の支援を受けた実績	倉敷市「令和3年度高梁川流域地域づくり連携推進事業」で、「笠岡ライター育成事業～高梁川流域ライター塾～」を開催 https://www.city.kurashiki.okayama.jp/37912.htm
他NPO・市民活動団体との協働実績	【2020年9月～】 岡山県立倉敷鷺羽高等学校・倉敷商業高等学校、私立金光学園高等学校など高校との協働による、地域情報の発信活動 【2021年2月】 一般社団法人高梁川流域学校と協働し、高梁川流域ライター塾を開催 https://takahashigawa.or.jp/info/webwriter/
企業・団体との協働実績	
行政との協働実績(委託事業など)	